



鎌倉日和® Vol.25

発行日：2018年 初夏
編集 / 将星国際特許事務所

つばやき～事務所にて～ しっかりと雨に濡れる紫陽花が美しい6月、鎌倉に沢山の観光客が訪れます。紫陽花の語源は「あづさキ」で、あづ=集まる、さキ=真の藍の意味。「四片(よひら)」や「七変化」の別名もあり、昔から人々に愛されてきた花だったのです。これからの季節、紫陽花の色は七変化し、鎌倉に彩りを加えます。今月ご紹介する鎌倉ブランドも、多くの人々に愛される鎌倉を彩るブランドです。

鎌倉ブランドのお客様・その①

● 真摯に美味しさを追求し続ける革新的な老舗 鎌倉 御代川様



鎌倉、由比ヶ浜に本店を構える京料理、御代川。看板の文字は奥村土牛氏が揮毫されたものです。先日、商標登録もされました。

今回はガイドブックに載っていない御代川の美味しさや魅力を探るべく、専務の齋藤様にお話を伺いました。

● 先進的なことにも挑戦し続ける

老舗料亭のイメージですが、常に新しい挑戦を続ける、先進的な側面もあります。

例えば、しゃぶしゃぶ。開店当初からの代表メニューですが、当時は非常に珍しい食べ方でした。さらに初代鯉之助氏は、ごまだれにカシューナッツを入れることを考案。その美味しさを聞きつけて、御代川のしゃぶしゃぶを食べるために鎌倉を訪れる客が後を絶たず、常に行列していたそうです。

初代の精神を引継ぎ、基本の味を守りつつ、今もなお、時代に合わせて新しい挑戦を続けるのが、一番の魅力です。

● 本物が好きなんです

材料にこだわり、適正な原価を守るのも、魅力のひとつ。「少し値が張っても、一番美味しい物を提供したい。するとどうしても、本物に行き着いてしまうんです。」「飲食店を長く続けるのは難しいです。そんな中、ずっと鎌倉でやってこられた

のは、とにかく真面目だからだと思います。」

実際に食べて「美味しい」と感じた食材だけを扱います。看板メニューの「葉山牛」の取引開始は実は30年も前。横須賀のヨコサンスーパーで、初めて葉山牛を試食した専務はそのあまりの美味しさに驚き、一心にメモをとっていたところ、背広姿の不審者がいるとバックヤードに連行されてしまいました。名刺を出して話しをすると誤解が解け、卸業者を紹介してくれたそうです。

今も美味しい食材を探して、世界中を回っています。



● 鎌倉の食文化を守る存在に

建長寺を始めとする寺社仏閣で供される食事や行事も司っています。例えば建長寺の開山忌に行われる「四ツ頭」。食事がメインの厳粛な行事で、相当なノウハウが必要です。鎌倉の食文化継承の役割も担っています。

● 大切な人に贈る、特別な贈り物に御代川を

建長寺でも認められた本物の味は、大切な人への贈り物に最適です。これからのお中元には、「葉山牛三味」などがお勧めです。

また「父の日彩り重」は、技を尽くした逸品を、二人前に凝縮した一段重です。父の日に、本物の味が届きます。

注文は電話、ファックス、店頭で受け付けているそうです。



鎌倉 御代川®

〒248-0014 鎌倉市由比ヶ浜2-22-5
TEL: 0467-23-0911 FAX: 0467-22-8581
URL: <http://www.miyokawa.co.jp>

鎌倉ブランドのお客様・その②

●大船を知ってもらうための親善大使 大船観音のんちゃん®



「大船観音のんちゃん」(以下のんちゃん)をご存じですか。大船観音寺のゆるキャラと思われがちですが、実は違います。のんちゃんは、大船渡への復興支援活動を通じて生まれたキャラクターです。

●復興支援と大船PRの2つの使命

東日本大震災の際に、鎌倉・大船から復興支援ができなかと会議が開かれました。そして、大船と名前が似ている大船渡市を支援しようという活動が始まりました。

今でこそパートナーシティですが、当時は大船渡市の人達は、大船のことを殆ど知らなかったそうです。

大船と大船渡。とてもよく似た2つの名前の都市。この支援活動をきっかけに、もっと沢山のの人に大船のことを知って欲しいという思いから、「分かりやすいキャラクターを作ろう」ということになりました。

デザインには寅さん等いくつか候補がありましたが、大船駅からひととき目立つ、大船の観音様に白羽の矢が立ちました。ゆるキャラの実現には大船観音寺の許可が必要です。



そこで、お寺の責任役員の一人で、護持会会長の小野田様が世話役となり、「大船観音のんちゃん」が誕生したそうです。

●のんちゃん銘菓で地元にも貢献したい

商標登録したのには、いくつかの理由があります。

一つは、第三者が勝手にのんちゃんを使用するのを抑制するため。大船観音寺に迷惑がかかることもあり、無断で使われるのは避けなければとの考えがありました。

もう一つは逆に、鎌倉の事業者へののんちゃんのお菓子を制作・販売して欲しいという思いがあるからです。

新しい銘菓が誕生すれば、大船のPRと地元の活性化にも繋がります。また、使用の際にライセンス料を払ってもらい、それを大船渡市に寄付する計画になっていて、実現すればのんちゃんからの復興支援を届けることができます。震災から7年経ちますが、大船渡市ではまだ復興事業が続いています。



●大船観音寺に許可をもらっての商標登録

「大船観音のんちゃん」の商標登録は、誰でもできる訳ではありません。今回は、特許庁が「大船観音寺の許可がないければ登録できない」と審査を下しました。そこで大船観音寺から「登録を許可している」という証明書をいただき、それを提出して商標登録しました。

鎌倉には名所旧跡等、皆が使用したい名前が多くあります。第三者が勝手にグッズ等を販売してトラブルが起きた際に、名前を無断使用された寺社の評判に傷がつくことがあります。トラブルを避けるために事前に商標登録し、法律の後ろ盾をつけておくことは、ブランドを守る上でも重要です。

●いつもニコリ地元の人気者

大船ルミネのイベントに、のんちゃんが登場しました。「珍しい! のんちゃんだよ」と皆が喜んで駆け寄る様子が印象的でした。人々を笑顔にする人気者です。



のんちゃん関連のグッズの販売にご興味のある方は、ぜひ小野田様までご連絡ください

大船観音のんちゃん®

連絡先 (株) 伊左衛門内 小野田 康成様
E-mail : onoda@mammy.co
☎ 0467-81-3011



知っ得商標 ~自社ブランドを守る、Amazonのブランド登録制度~

商標登録を持っていると、Amazonで「ブランド登録」をすることができるのをご存じですか?

近年、ECサイトで自社製品の転売や相乗り出品が行われたり、同じ名称の他社製品が販売されたりするトラブルが増加しています。これまでは、ECサイトの出品者に個別に交渉して解決することが多かったのですが、商標登録をもとにAmazonでブランド登録を行うと、自社ブランドのページをコントロールする権限が得られ、知的財産権を侵害する商品を減らすことができます。弊所ではAmazonのブランド登録についてサポートも行っています。ぜひお問い合わせください。